

# 1. 調査報告概要表

作成日 平成19年6月12日

## 【評価実施概要】

事業所番号	(※評価機関で記入)
法人名	メディカルケアサービス東海(株)
事業所名	愛の家グループホーム大垣
所在地 (電話番号)	岐阜県大垣市宝和町15番地 (電話) 0584-77-3950
評価機関名	NPO法人 ぎふ住民福祉研究会
所在地	岐阜県羽島市竹鼻町狐穴719-1
訪問調査日	平成19年6月2日

## 【情報提供票より】(平成19年5月9日事業所記入)

### (1) 組織概要

開設年月日	平成 16 年 8 月 1 日
ユニット数	2 ユニット
職員数	15人
利用定員数計	18 人
	常勤 14人, 非常勤 1人, 常勤換算 13.7人

### (2) 建物概要

建物形態	併設 <input checked="" type="radio"/> 単独 <input type="radio"/>	新築 <input checked="" type="radio"/> 改築 <input type="radio"/>
建物構造	鉄筋 造り	
	2階建ての	1階 ~ 2階部分

### (3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	60,000 円	その他の経費(月額)	21,000 円
敷金	有( ) 円	無 <input checked="" type="radio"/>	
保証金の有無 (入居一時金含む)	有 <input checked="" type="radio"/> 100,000 円 )	有りの場合 償却の有無	有 <input checked="" type="radio"/> 無 <input type="radio"/>
食材料費	朝食	円	昼食 円
	夕食	円	おやつ 円
	または1日当たり 800 円		

### (4) 利用者の概要(5月9日現在)

利用者人数	18名	男性	4名	女性	14名
要介護1	5名	要介護2	4名		
要介護3	3名	要介護4	4名		
要介護5	2名	要支援2			
年齢	平均 84.1歳	最低	70歳	最高	98歳

### (5) 協力医療機関

協力医療機関名	大屋クリニック 桐山歯科 大垣市民病院
---------	---------------------

## 【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

愛の家グループホーム大垣は、大垣の郊外に位置し、閑静な住宅街にある。代表者は地域密着型のサービスの意義と役割をよく理解し、全国展開している各地の情報を分析し、実績と経験を活かし、その人がその人らしく生き続けていける支援をしたいと熱い思いを語っている。ケアマネージャーは介護職員でもあり、個々の利用者の特徴をよく理解し、本人本位の現状に即した介護計画を作成している。日々の暮らしの中には一人ひとりの出番もあり、人生の先輩として多くのことを教えてもらうなど職員と共働りの関係を作り、家庭的な雰囲気の中で尊厳ある生活を大切にケアされている。

## 【重点項目への取り組み状況】

重点項目 ①	前回評価での主な改善課題とその後の取り組み、改善状況(関連項目:外部4)
	外部評価の結果を踏まえ、改善計画シートを作成し、職員全員に伝え改善に取り組んでいる。事故報告会議を設け、再発防止と緊急時の対応知識を深めるなど積極的な改善がなされている。地域活動や住民との交流を深める取り組みは継続している。
重点項目 ②	今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)
	管理者はサービス評価の意義と目的を伝え、全職員の意見を聞いて自己評価を実施した。評価を活かした具体的な改善に取り組んでいる。
重点項目 ③	家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7, 8)
	苦情受付窓口はホーム長で意見箱もあった。家族会や面会時、行事等の出席時、個々に意見を聞いている。それらを運営に反映させている。
重点項目 ④	日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)
	利用者の日常生活における方針はその人がその人らしく暮らせるよう、利用者の希望や能力に合わせて支援されている。自治会に加入し、回覧板を回し、夏祭りや節分には自治会長他の参加もあり、地元住民との交流や地域活動への参加の取り組みを進めている。

## 2. 調査報告書

(   部分は重点項目です )

取り組みを期待したい項目

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<b>I. 理念に基づく運営</b>					
1. 理念と共有					
	1	○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	利用者が地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えるため、果たすべき役割を反映した独自の理念となっている。	<input checked="" type="checkbox"/>	
	2	○理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	玄関、会議室、職員トイレに掲示し、管理者と職員は理念を共有し、実践に向けた取り組みがなされている。	<input checked="" type="checkbox"/>	
2. 地域との支えあい					
	5	○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	自治会に加入し、回覧板を回している。事業所の行事には自治会長や近所の人の参加があった。しかし地域活動や住民との交流は少ない。	<input type="checkbox"/>	自治会加入を活かし、地域との関わりを深めてほしい。文化祭やお祭り、盆踊り等地域の一員として地域の活動や住民との交流を積極的に進めていく取り組みが期待されている。
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
	7	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	管理者はサービス評価の意義を伝え、全職員の意見を聞いて評価を行った。評価を活かし具体的な改善に取り組んでいる。	<input checked="" type="checkbox"/>	
	8	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	運営推進会議では利用者の状況やグループホームの情報提供を行いサービスの向上に取り組んでいる。その討議内容は記録され、運営に活かされている。	<input checked="" type="checkbox"/>	

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
6	9	<p>○市町村との連携</p> <p>事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる</p>	<p>事業所は運営推進会議以外、市役所担当者が行き来する機会は少ない。働きかけはしている。</p>	○	<p>市職員の研修場所として事業所の活用や認知症高齢者等の相談を受けるなど、市と行き来する関係作りの取り組みが期待される。</p>
4. 理念を実践するための体制					
7	14	<p>○家族等への報告</p> <p>事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている</p>	<p>職員の異動についての報告はしていないが、毎月1回ホーム便りを出し、暮らしぶりや健康状態を報告している。金銭管理の報告も定期的に行っている。</p>		
8	15	<p>○運営に関する家族等意見の反映</p> <p>家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>苦情受付窓口はホーム長で意見箱もあった。家族会や面会時、行事等の出席時個々に意見を聞いている。それらを運営に反映させている。</p>		
9	18	<p>○職員の異動等による影響への配慮</p> <p>運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている</p>	<p>幹部職員以外はほとんど異動はなく、固定化している。顔馴染みによる職員のケアに心がけている。</p>		
5. 人材の育成と支援					
10	19	<p>○職員を育てる取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>運営者は管理者や職員を段階に応じて育成するための計画を立てている。働きながらトレーニングしていくことを進めている。</p>		
11	20	<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>運営者は管理者、職員が関連事業所と交流する機会を作っている。研修会、勉強会等を通じてサービスの質の向上に取り組んでいる。</p>		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<b>Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
12	26	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	本人が安心して納得の上でサービスを受けられるよう自宅訪問や事業所見学を実施している。ご家族と相談しながら徐々にホームの雰囲気に馴染んでいける工夫をしている。		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
13	27	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	利用者は人生の先輩であり、師匠であるという考えを職員は共有している。野菜の植え付けや肥料について教えてもらうなど日頃から支え合う関係を築いている。		
<b>Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
1. 一人ひとりの把握					
14	33	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	一人ひとりの思い、暮らしの希望、意向を把握している。思いや意向の把握が困難な場合はこれまでをよく知っている人達で「本人だったらどうするか」という視点に立ち、本人本位に検討している。		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
15	36	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	利用者がより良く暮らせるようご本人、ご家族の要望を聞き全職員で話し合っている。利用者本位の介護計画となっている。知人や友人、これまでの関わりのあった人達の意見やアイデアも反映されている。		
16	37	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	介護の見直しが必要と思われたときには、ご家族に来所してもらい相談して了解を得ている。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
3. 多機能性を活かした柔軟な支援					
17	39	○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	相談窓口を置いて、本人やご家族の要望に応える体制を作っている。		
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
18	43	○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	眼科、整形外科、接骨院などそれぞれのかかりつけに行く支援がなされている。		
19	47	○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	まだ、対応のための諸整備をする必要があるが進めて行きたいと考えている。		
1. その人らしい暮らしの支援 (1)一人ひとりの尊重					
20	50	○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	失禁時にさりげないトイレ誘導をするなどプライバシーに配慮した対応をしている。また、接遇についての研修も実施している。		
21	52	○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	さりげなく話を聴き、買い物や散歩に誘うなどして一人ひとりのペースや希望に沿う支援をしている。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<b>(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援</b>					
22	54	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	さりげなく職員が動いて必要な食事の介助を助けていた。		
23	57	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	現在、入浴が苦手な利用者が多いが何人か入浴した後のタイミングを見計らって抵抗感を無くして入ってもらうなど工夫している。		
<b>(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援</b>					
24	59	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	生活歴に合わせ、菜園や買い物、家事を行ってもらっている。		
25	61	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	たとえ重度でも地域の資源を活用して、ホーム外での時間を過ごせるようにしている。		
<b>(4) 安心と安全を支える支援</b>					
26	66	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	1階は施錠ない、2階のドアは入室自由だが、出るには暗証番号入力が必要となっていて自由に外に出られない構造になっている。		安全上のことを考えてのことであるが、開錠に向けての検討を考えているということであるのでこれからは期待したい。
27	71	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	火災の避難訓練を利用者と共に実施している。また、自治会とも連携をしていて連絡、避難誘導、見守りなどの協力を得ている。	○	火災の他水害等の訓練を実施したり、自治会との連携の方法も具体的に話し合っていくことを期待したい。

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	水分摂取量をチェックしたり、栄養バランスを考えての献立を考えたり一人ひとりの状況把握をしながら援助している。		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1)居心地のよい環境づくり					
29	81	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	玄関、廊下、居間、食堂は採光良く、明るく落ち着いた空間となっている。		
30	83	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	馴染みのものの持ち込みは自由でそれぞれが思い思いの居室になっている。		